

子どもたちの豊かな人権感覚

小中学生の人権標語から

町教育委員会では、12月4日～10日の人権週間に合わせて、町内の小中学生から人権標語を募集しました。

応募作品は、温かく感心させられるものばかりでした。いじめや差別、偏見などに立ち向かう強い意志や行動そして友達への呼びかけなど多岐にわたっています。

子どもたちの生活の中から出てきた素直な気持ちの表れたものばかりです。本町がめざす「日本一住みよい町」づくりの基礎は、豊かな人権文化が花開く町です。子どもたちの標語をもとに、私たちみんなでかけがえのない人権について考えてみましょう。

応募作品の中から、特選と入選に選ばれた標語をご紹介します。

※特選は、役場、公民館、文化会館、交流情報センターに掲示します。

益城町教育委員会

特選

おもいやり やさしいところを たいせつに (小2)
 わるぐちを 言ってるじぶんを さようなら (小3)
 すてきだね 君の一言 その笑顔 (小6)
 だいじょうぶ? きつととなり 誰がいる (中1)

入選

わたしのいのち ともだちのいのち (小1)
 だいじなのち (小1)
 どうしたの ひとりじゃないよ (小1)
 あそぼうよ (小1)
 ほいくんのときはじめて「あそぼう」 (小1)
 ていわた。うれしかった。 (小1)
 いじめはね とめなきやきみも (小2)
 いじめつこ (小2)
 たいせつな (小2)
 手をつなぐ (小2)
 ともだちの (小2)
 しあわせはこぼ (小2)
 みんなでね (小3)
 笑顔でね がんばった人に (小3)
 はく手だよ (小4)
 ともだちが (小4)
 なやんでいたら (小4)
 たすけよう (小4)
 「あそぼうよ」 ただそれだけで (小4)
 うれしいね (小4)
 世界中 どこにいたって (小4)
 お友だち (小4)
 ごめんねは、二人をつなぐ (小5)
 合言葉 (小5)
 やられたら 倍返しせず (小5)
 注意する (小5)
 「やめようよ」 すごい大事 (小5)
 いっしゅんの勇氣 (小5)
 だいじょうぶ? 言葉のまほう (小6)
 かけようよ (小6)

広げよう あなたと私の (小6)
 心の輪 (小6)
 友達に 心の傷の (小6)
 ばんそうこう (小6)
 優しさが あふれる学校 (小6)
 つくろうよ (中1)
 暗闇に 光射し込む (中1)
 みんなの手 (中1)
 あなたはね 一人じゃないよ (中1)
 ぼくがいる (中1)
 辛いとき 支えになるのは (中1)
 友の声 (中1)
 「ぼくじゃない」 そんな言葉で (中1)
 ごまかすな (中1)
 味方だよ 一人だなんて (中1)
 いわないで (中2)
 「知りません」 そんな言葉で (中2)
 ごまかすな (中2)
 どうしたの 勇氣を出して (中2)
 言ってみよう (中2)
 「差別だめ」 口だけじゃなく (中2)
 行動で (中2)
 見つけよう 一人一人の (中3)
 いいところ (中3)
 大丈夫 味方はいつでも (中3)
 そばにいる (中3)
 ありがとう 心を結ぶ (中3)
 愛言葉 (中3)
 お互いに 支えあって (中3)
 「人になる (中3)

ふるさとの地名漫歩

歴史の変遷と地名

365

飯田山常楽寺²⁵

この経緯から自分の号を「不可棄」としました。棄てるべからずの意味でしょうか。以下「泉涌寺不可棄法師傳」から要点を抜粋紹介します。

4歳で熊本市の池辺寺に預けられ7歳で初めて経文を読み仏經の勉強を始めます。9歳の時甘木に帰り甘木庄の預所(莊園領主の代理人として莊務を司どる莊官)源憑の養子となり、名を自然と改め、14歳で常楽寺の眞俊に師事し18歳で得度し、以後常楽寺に籍を置き各地の寺で修業を重ねますが、眞俊の没後は相俊の教をうけます。正治元年(1199)34歳の時志を立て、

中国宋に渡り以来中国各地で研究に励み建暦元年(1211)46歳で帰国します。実に12年に及ぶ中国滞在でした。帰国後は一代の蹟徳として朝野に迎えられる、各地で教化に活躍し多くの官民が帰依します。建保6年(1218)53歳の時、時の高官従五位下大和守中原(宇都宮)信房から京都の仙遊寺を寄進され、これを

泉涌寺と改めその開基となります。以後後鳥羽上皇、後高倉院からも寄進を受け、特に貞應3年(1224)59歳の時、第8代後堀川天皇より泉涌寺に御願寺(上皇・天皇・皇后・皇子の本願により建立された寺で、鎮護国家的祈願よりも、個人の加持祈禱の祈願を主とする寺で、皇室の私寺的な性格が強い)の官符を賜うなど、皇室の厚い信頼をうけました。

このように上下の人々の帰依と多数の仏書と教訓を残し、嘉祿3年(1227)1月8日62歳・出家から数えて44年の生涯を閉じられました。飯田山常楽寺出身の名僧です。

益城町文化財を訪ねる会
 会長 松野國策



不可棄法師伝の表紙